

我が町の協力隊

～活動内容について～

佐野 祥さん



Q. 具体的な活動内容となぜその活動をしているのか教えてください。

A. 「自分たちのやりたいこと」と「集落の活性化＝協力隊の活動」の二つです。

自分たちのゲストハウスだけでなく、同じ集落にある友田家を盛り上げることで地域に訪れてみたいと考えてくれる人を増やし、全体の活性化になればと考えています。

自分たちのやりたいこと

「自然と共生する暮らし」を
体現できる場所を作る



ゲストハウスの再築

循環型の暮らしの楽しみは短い滞在時間では体感できない。自分たちの暮らし方を知ってもらうにはもっと長期的に滞在することができる場所を用意したい。そのための場所として、母屋の向かいの建物をゲストハウスとしてリノベーションしている。

コミュニティスペース計画

縁があって住まわせてもらっている土地を、地域に還元したい。そのため敷地内にある古民家を地域に開かれたコミュニティスペースに改装予定。

協力隊としてやりたいこと

里山や地域の維持に関われ
る場所を作る



友田家住宅でのイベント開催

助け合いで維持されていた美しい里山の景観は、今や人手不足で荒れてしまっている。維持のためには既存のメンバーだけでなく新しいメンバーが必要。新しく地域と関わってくれる人を増やすため、重要文化財の友田家でさまざまなイベントを行う。

友田家周辺の景観保全

景観維持のための周辺管理も併せて行う。後継者のいない茶畑の管理、敷地内の荒れていた棚田の再生、沢の環境再生などを行っている。

7月の活動報告

佐野

- 田んぼ関連
草刈り、草取り
- ゲストハウス関連
間柱、壁、窓づくり
- 手仕事関連
葛取り、ブルーベリー加工
- イベント関連
音楽会企画準備

横山

- 空き家の調査
城下、天宮地域
- 地域
ぶぶふの日出店、地域の生活用水保全・整備、廃校利活用会議、盆踊り練習
- 田んぼ関連
水管理、水源整備
- 住まいの改修工事

松葉

- 商品開発関連
クラフトビール準備(仕込み手伝い、ラベル貼り、瓶詰め)、ブルーベリー商品販促
- 空き家の調査
天宮地域
- 広報関連
森町地域おこし協力隊新聞編集作業

岩瀬

- 移住定住相談
ぶぶふの日空き家ツアー
- 空き家の調査
城下、天宮地域
- 空き家利活用推進
旧レコード店改修
- 関係人口創出
半夏生支援、ブルーベリー商品販促

森町地域おこし協力隊新聞



令和4年(2022年)

8月

第2号

メンバー紹介

地域おこし協力隊

佐野 祥

横山 春人

松葉 知香(パチカ)

移住コーディネーター

岩瀬 進哉

森町役場

定住推進課



僕と空き家

移住コーディネーターと空き家の話

「新町の町家」

森町との出会いは偶然だった。当時実家のある浜松での仕事を辞め、改めて学生時代に触れていた農業に立ち返ろうとしていた僕は、日本各地の農家に住み込みで働くことにした。そうして、受け入れてくれた森町に二週間ほど滞在し、たまたま伺った古着や骨董などの市が並ぶイベント「町並みと蔵展」。蔵や町家が点在し、古き良き商店が残る町並みに僕は驚いた。それまで僕が持っていた森町のイメージは失礼ながら「小国神社」「とうもろこし」「生クリーム大福」の3つくらい。でも蔵展で見た町並みは、僕にとってまるでダイヤの原石を見つけたような驚きがあった。

それから僕は頻りに森町に通うようになり、次の就職先を探す中で「地域おこし協力隊」の募集が森町で始まったと聞いて興味を持った。僕が学生時代に入っていたサークルは、海外協力や農村振興に興味を持つ仲間が集まっていた。青年海外協力隊に行く仲間もいた。応募を考える中で、各地の地域おこし協力隊員に会い、僕も町の方と一緒に地域を盛り上げたいと思った。そんな流れで森町地域おこし協力隊の第一号として働くことになった。

隊員になる条件の一つはその町に住むこと。森町に住むことになった僕は、友人の紹介で一軒の空き家に出会った。それが今の自宅であり、ゲストハウス「森と町」を営む「新町の町家」だった。一目で住むことを決めたその家は、どこか僕が学生時代に住んだ家賃2万円の木村家にも似た、昭和の香りする懐かしい家だった。

岩瀬進哉(イワセシンヤ)・森町移住コーディネーター

地域おこし協力隊OB。現在はゲストハウス森と町店長。

一般社団法人「モリマチリノベーション」の理事。同団体で空き家の活用やまちづくりに取り組む。



協力隊の貼り紙

作・絵 よこやまはると 横山 春人

森町に暮らし始めて、毎日森の(山の)水を飲んでいきます。食べ物も、半分ぐらいがこの土地で採れたもの、お米に季節の野菜、卵、鹿や猪のお肉、椎茸など、ありがたく頂いています。口にするものがガラリと変わった森での暮らし。え、もしかして！僕の半分は森でできているのかも！想像したらうれしくなりました。

地域おこし協力隊とは？

地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。隊員は各自自治体の委嘱を受け、任期は概ね1年以上、3年未満です。

連絡窓口のご案内

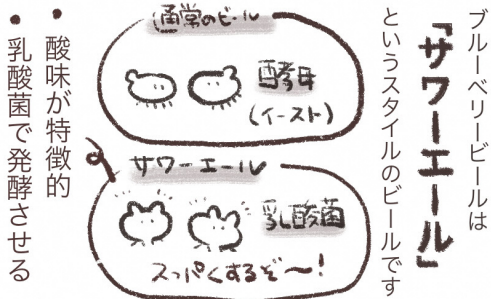
森町役場(定住推進課)

0538-85-6321

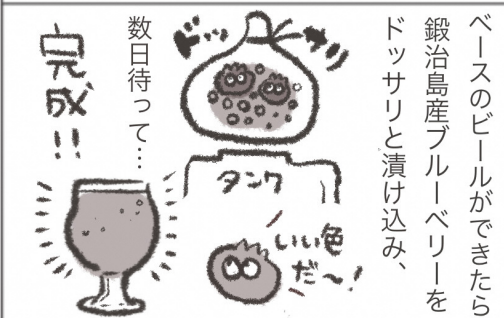


先月はクラフトビールの醸造をお手伝いすることが多かったです

森の農産物を使った商品開発に携わります



酸味が特徴的
乳酸菌で発酵させる



取り扱い店
田中屋酒店
松尾酒店
アクティ森

是非お手に取って楽しんでください